

【島のくらしの情報】

沖の島・鵜来島

①仕事（収入）の状況	<p>本地域の海域は、西日本有数の磯釣り場やダイビングのメッカとして広く知られていることから、磯釣り客を対象とした渡船業、旅館、民宿やダイビング業が盛んです。</p> <p>産業は、水産業も営まれているが、零細な沿岸漁業がほとんどです。</p>
②住居の状況（貸家、空き家など）	<p>空き家を所有者や地区と交渉の上、居住することが可能です。</p>
③医療環境の状況	<p>沖の島：へき地診療所（一週間のうち4日間(ウエブ診療による場合あり)、島外の医師による診療があります。看護師は週5日勤務しています。）</p> <p>鵜来島：巡回検診を1ヶ月に1回実施し、医師の巡回がない週は、宿毛市の保健師と幡多福祉保健所の保健師が交代で月2回巡回を行っている。歯科診療は年2回離島歯科診療班派遣事業を実施している。</p>
④福祉環境の状況	<p>介護サービスを受けられる施設はありませんが、ホームヘルプサービスや、福祉用具の貸与、住宅の改修や福祉用具の購入に対する助成などを受けることができます。</p>
⑤教育環境の状況	<p>沖の島：学校等・・・保育園1園 小学校1校 中学校1（休校中）校 高校0校</p> <p>鵜来島：学校等・・・なし</p>
⑥上下水道・電気・ガスの状況	<p>電気、水道・・・普及率100%</p> <p>ガス・・・プロパンガス</p>
⑦本土との交通手段（費用、時間、便数など）	<p>市営定期船 片道1,330円（島民割引有）、1日2便、7：00片島発/14：30片島発</p>
⑧島内の交通手段（費用、便数など）	<p>沖の島循環バス（スクールバスの一般混乗）</p> <p>運行：平日のみ（5月～8月は土日祝日も運行）</p> <p>1日ルートを変えて5便、1回200円</p>
⑨買い物場所・物価の状況	<p>沖の島：商店あり。物価は本土より高い</p> <p>鵜来島：商店なし。</p>

<p>⑩これまでの移住実績</p>	<p>あり。 漁業就業者に対する支援制度を利用して移住した例もあり。</p>
<p>⑪移住を希望される方の短期滞在、 下見に対する支援の状況</p>	<p>宿毛市お試し暮らし短期滞在費助成事業を整備しています。 (市の指定施設で3泊以上13泊以下の宿泊に対し、1人1泊あたり2,000円を助成) 宿毛市内には、お試し住宅を整備しています。 (利用期間は1カ月から6カ月。家賃・共益費合わせて10,000円/月。駐車場代1,000円、光熱水費別)</p>
<p>⑫移住にあたっての支援の状況</p>	<p>漁業就労支援制度・・・①新規漁業就業者支援事業（長期研修2年以内、月額15万円以内を限度に補助） ②新規漁業就業者漁船リース事業（中古船リースに対する補助） 農業就労支援制度・・・新規就農推進事業（新たに農業をするために研修を受ける方に対する支援） 農業次世代人材投資事業（新たに農業を開始した方に対する支援） 移住体験ツアー・・・首都圏、関西圏を中心とする移住希望者を主な対象とし、本市の移住に関する取り組みの紹介や自然、歴史、文化、食など優れた資源を案内します。 お試し住宅制度・・・沖の島にはありませんが、宿毛市内に整備しています。 移住総合案内業務・・・移住相談員が、移住希望者の方へ空き家、物件の紹介など移住を総合的にサポートしています。 自動車免許取得等費用の割引特典・・・移住者または移住希望者に教習料金割引などの特典があります。</p>
<p>⑬そのほか島での暮らしぶりについて 伝えておくべき必要な情報</p>	<p>地区の一斉清掃や寄り合いなどに積極的に参加し、自分から地域に溶け込む努力をすることが大切です。 また、一度実際に訪れてみて、じっくり検討してほしいと思います。</p>